

# 第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

4-⑩

## 施策

高齢者の出会う場・学びの場・活躍の場を充実する

## 担当部局

保健福祉局，文化産業局

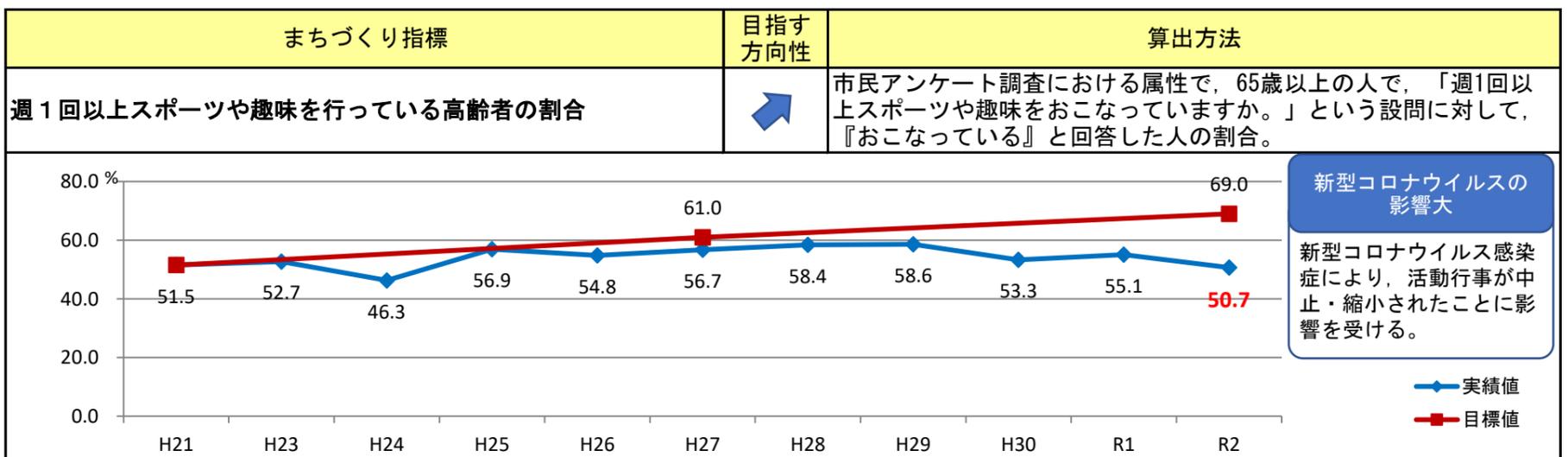
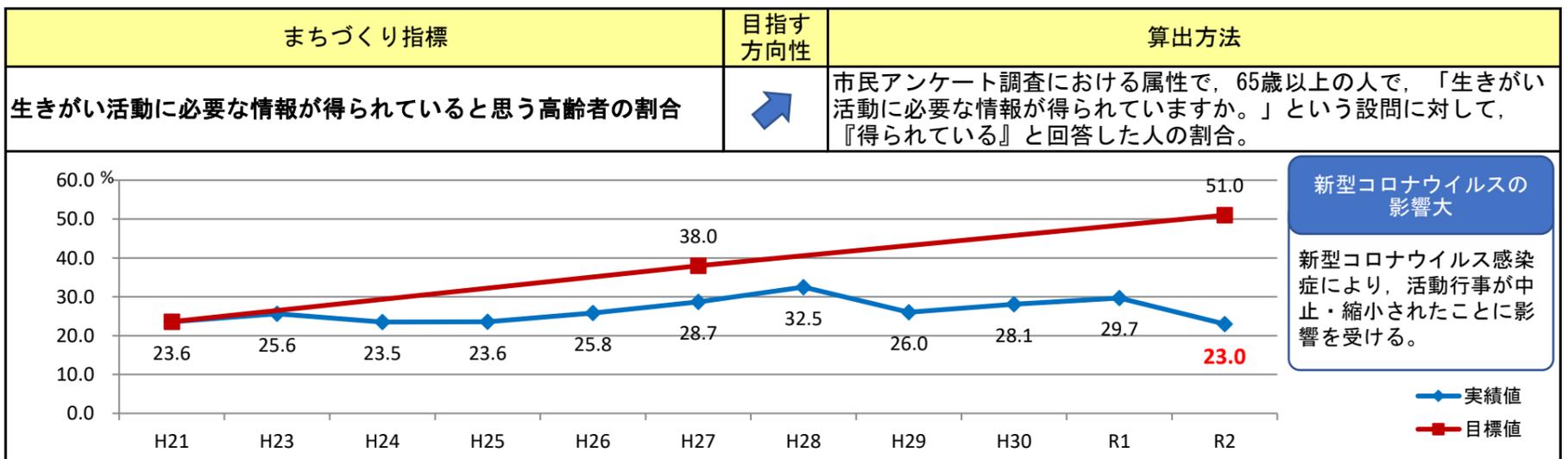
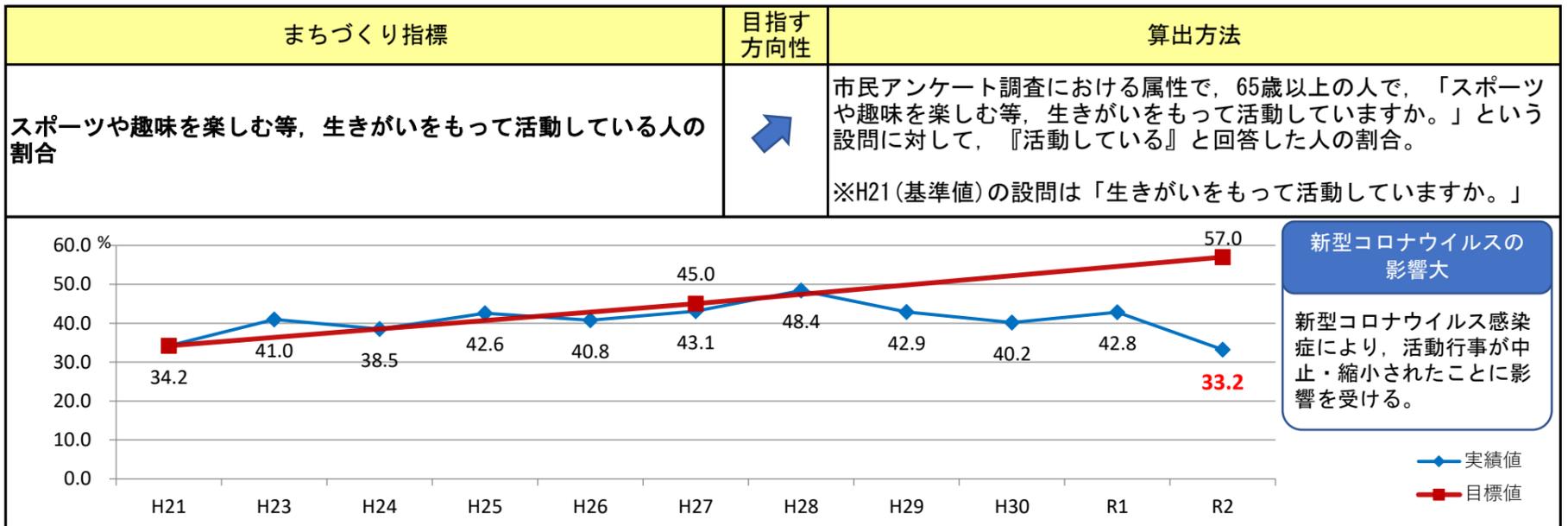


【共生】 めざまちの姿 高齢者が生きがいをもって活動している

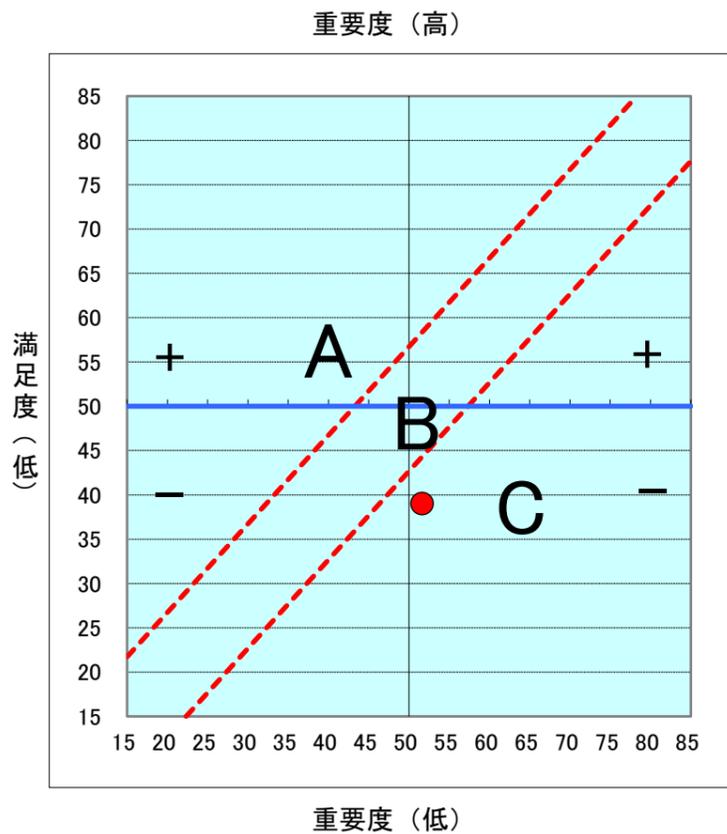
## 市の基本方針

- 高齢者の孤独感や閉じこもりを解消していくため、高齢者が気軽に集い、仲間との出会い、交流の機会や異世代との交流が図られるよう、ふれあいの場の創出に努めます。
- 高齢者の学びに対するニーズを把握した学習機会の充実や、高齢者が主体的に講座の企画立案に携わることができるよう情報を提供し、支援します。
- 社会活動や地域活動、就業活動への参加を促進し、高齢者の活躍の場を広げる取組を充実します。

## 数値目標



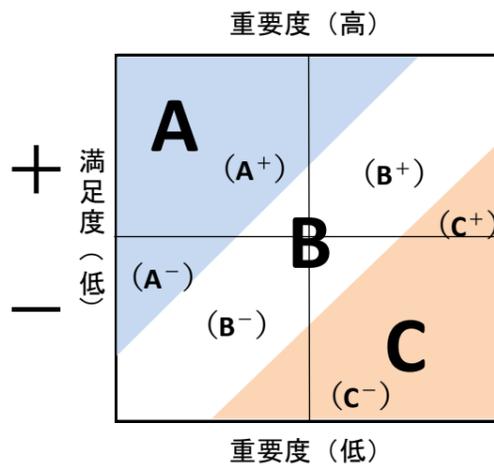
市民の重要度・満足度 (R3.5アンケート調査結果)



領域	偏差値	
	重要度	満足度
C	39.02	51.66

●重要度に見合う以上の満足度が得られている (C)  
●重要度が平均値より低い (-)

【グラフの見方】



- A : 重要度に見合った満足度が得られていない領域  
 B : 重要度に見合った満足度が得られている領域  
 C : 重要度に見合う以上の満足度が得られている領域
- ※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割 (3×2領域)  
 + : 重要度が平均値より高い部分  
 - : 重要度が平均値より低い部分
- A<sup>+</sup>, A<sup>-</sup>, B<sup>+</sup>, B<sup>-</sup>, C<sup>+</sup>, C<sup>-</sup>
- A<sup>+</sup> : 重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I) / 令和2年度の主な実績(II) / 今後の方向性(III)	R2年度決算額(千円)
	シルバー人材センター運営事業	(I) 60歳以上の高齢者の雇用・就業を支えるシルバー人材センターの安定的な事業運営のため補助金を交付した。 (II) 契約金額(615,307千円)は前年度と比較すると増加した。会員数(1,504人)は減少し、受注件数(11,524件)も減少した。 (III) 継続して実施する。	36,807
	敬老記念品贈呈事業	(I) 長寿を祝福することを目的として実施した。 (II) 88歳2,603人、100歳129人に記念品を贈呈した。 (III) 継続して実施する。	21,322
	高齢者生きがい対応型デイサービス事業	(I) 高齢者の社会参加の促進、介護予防及び生きがいの向上を目的として実施した。 (II) 新型コロナウイルス感染症の影響のため、4月~6月の間、講座を中止し、7月以降も感染症対策のため、人数を減らして実施した。講座開講回数232、延べ参加人数2,883人 (III) 継続して実施する。	8,671
	3世代ふれあい交流事業	(I) 若年者の高齢者に対する理解を深めるとともに、高齢者の健康と生きがいを高め、介護予防を図ることを目的として実施した。 (II) 新型コロナウイルス感染症の影響のため、38会場実施予定を26会場中止し、12会場は規模を縮小して実施した。参加人数は1,501人 (III) 継続して実施する。	780
	老人クラブ助成事業	(I) 健康増進及び社会奉仕などの活動により高齢者の生きがいを高め、社会参加を促進することを目的として実施した。 (II) クラブ数358クラブ、会員数15,536人 (III) 継続して実施する。	22,322
	老人福祉センター管理運営事業	(I) 地域の高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者に健康で明るい生活環境を提供する。 (II) 利用者数39,340人 (III) 継続して実施する。	125,452
	憩の家管理運営事業	(I) 地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等の場を供与し、高齢者の心身の健康保持に寄与する。 (II) 利用者数212,042人 (III) 継続して実施する。	90,699
創	いきいきポイント推進事業(再掲)	(I) 社会貢献による高齢者自身の介護予防を目的として実施する。 (II) ボランティア登録数557人、延べ実施時間4,203時間、受入事業所数342事業所。新型コロナウイルス感染症の影響のため、19カ所の事業所が廃止、ボランティア登録者も178人減少した。 (III) 高齢者の社会貢献による介護予防の機会として、継続して実施する。	5,525

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
創	ふれあいサロン活動促進事業(再掲)	(Ⅰ) 閉じこもりがちな高齢者の社会参加の促進と、地域で支え合う体制をつくる。 (Ⅱ) 感染不安から活動に不安を持つサロンも多くあったが、感染対策の徹底や、活動内容や方法など具体的な工夫を支援した。活動サロン数は290カ所で前年から15カ所増加した。 (Ⅲ) 高齢者の健康づくりや介護予防を推進するため、今後も継続して実施する。	9,112
	健康いきいきサロン活動促進事業(再掲)	(Ⅰ) 高齢者の社会参加を促進し、地域の支え合いのネットワークを構築する。 (Ⅱ) 37回、345人が参加した。なお、新型コロナウイルス感染症の影響で2施設が活動を中止した。 (Ⅲ) 高齢者の社会参加を促進するため継続して実施する。	72
公創	生活支援コーディネーター配置事業(再掲)	(Ⅰ) 高齢者の社会参加や地域での支え合い活動を強化する。 (Ⅱ) 社会福祉協議会に委託を行い、生活支援コーディネーターを6人配置し、全市的な活動だけでなく、小学校区単位の身近な地域を対象に情報発信や活動支援を行った。 (Ⅲ) 通いの場等の事例集を作成し、地域へ情報発信を行うなど、地域の活動支援を継続して実施する。	40,782
	地域支え合い推進事業(再掲)	(Ⅰ) 分野を越えて支え合う地域づくりを推進する。 (Ⅱ) 地域共生の視点に立った地域の支え合い活動の情報を集め、「地域支え合い通信」を年6回発行した。 (Ⅲ) モデル事業としての当該情報発信は令和2年度で完了。分野を越えた支え合いの推進は、今後「生活支援コーディネーター配置事業」で発信する。	1,339
創	地域支え合い活動啓発事業(再掲)	(Ⅰ) 情報交換の場の開催やフォーラムでの啓発を通して、サロン活動と地域の支え合いを推進する。 (Ⅱ) サロン代表者等を集めた交流会を市内6地区で開催(参加者226人)。地域での支え合い活動をテーマにした市民向けフォーラムを開催(全市版:212人・地区版:280人参加)。 (Ⅲ) 継続して実施し、地域での支え合い活動を推進していく。	824
創	認知症サポーター養成事業(再掲)	(Ⅰ) 認知症の正しい知識と理解をもち、地域の見守りを担うサポーターを養成し、支援体制を強化する。 (Ⅱ) 令和2年度、認知症サポーター養成講座を72回開催し、1,209人のサポーター(うち、229人はキッズサポーター)を養成した。 (Ⅲ) 今後も継続して実施すると共に、地域で暮らす当事者のニーズとつなげる仕組み(チームオレンジ)の構築につなげる。	560
創	くらしき健康応援事業(再掲)	(Ⅰ) 健康無関心層の方も含め、健康づくりに関心を持ち、健康行動の実践のきっかけとなることを目的として実施する。 (Ⅱ) くらしき健康応援団講座(25回424人)、くらしき健康応援ガイドの発行(年2回各3,000部)、測定体験(33回1,412人)、くらしき健康ポイント事業(WEB・アプリ参加者延4,160人) (Ⅲ) 市民の健康意識の向上に向け、内容の見直しを行いながら継続して実施する。	7,229
	公園等清掃委託事業(再掲)	(Ⅰ) 高齢者に公園等の清掃作業を委託することで、社会参加促進や健康の増進に資することを目的として実施した。 (Ⅱ) 市内の公園等のうち、高齢者の生きがい支援として、247ヶ所の公園・遊園の清掃を地域の高齢者やシルバー人材センターに委託して実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	25,375